

ENGUIN

エンガイン

F★★★★

ホルムアルデヒド登録認定商品

塩害にはこの下塗りが
あれば大丈夫!



塩害にはエンガイン!
穴開く前にエンガイン!
早めの塗替エンガイン!

機能

機能 01 優れた作業性

ハケ・ローラーで120 μ m/回
塗装でき、厚塗りなのに塗装
作業性に優れている

機能 02 広い旧塗膜適性

弱溶剤で旧塗膜を再溶解する
心配がなく、あらゆる旧塗膜に
塗り重ねが可能

機能 03 高い環境遮断性

異方性顔料により、外的要因
(水・酸素)などの侵入を防ぐ

塩害とは？

塩害(えんがい)は、各種建築物・構造物への、「塩分」に起因する害の総称です。海水塩に由来する塩害は、通常は海岸から数kmまでの地域で生じますが、台風の強風などにより海岸から遠く離れた内陸部まで被害が及び場合があります。また道路の雪や氷などを溶かす融雪材に使われる塩化カルシウムの影響で錆が誘発されることもあります。

エンジンを使う場合の最強組み合わせ

プリストルプasterは凹部分の錆も除去できる

素地調整を入念に！【プリストルプaster】

塩分が残っている上に塗装をしても付着不良となり、再発錆の原因となります。

- ① 水洗いを行い、付着している塩分を除去する。
- ② 錆の発生を防ぐには素地調整が重要。「プリストルプaster」と組み合わせることで錆を根元から除去し素地との密着性を高め、再発生を防ぎます。
- ③ 素地露出箇所は有機ジンクリッチペイント (SDジンク500) で補修塗することで、更に高度な防食層を形成します。



ディスクサンダー



プリストルプaster

エンジンの性能

- ◆ 防食性: CCT-JASO法2400h
塗装仕様: 下塗/ユニテクト30S
膜厚: 下塗120μm/上塗60μm

サンドブラスト		ディスクサンダーケレン	
エンジン	同等厚膜品	エンジン	同等厚膜品

【エンジン】は同等厚膜品よりも、カット部からの発錆が少ない。

◆ 収縮力の比較

膜厚が厚くなると収縮応力で膜が反り返る力が発生します。これにより脆弱な旧塗膜を引きはがしてしまう可能性がありますが、エンジンは異方性顔料の最適化により応力を緩和しています。

エンジン	同等厚膜品
厚 ← 膜厚 → 薄	厚 ← 膜厚 → 薄

◆ バリヤー性: 酸素透過係数 膜厚: 120μm

酸素透過係数 (cm ³ ·cm/cm ² ·sec·cmHg)	
エスコNBマイルドH	6.81
エンジン	4.87

酸素透過係数は同等厚膜品よりも低く、透湿度も半分以下となる。そのため塩害や水の浸透を阻害する性能が向上している。

エンジンの概要

適用素材

鉄	亜鉛めっき	アルミ	ステンレス	コンクリート
○	×	×	×	×

製品情報

荷姿 19kgセット ベース: 17.2kg 硬化剤: 1.8kg 混合比 ベース: 硬化剤 10:1
4kgセット ベース: 3.63kg 硬化剤: 0.37kg
色 ライトグレー (N-8.5 近似)

使用量と膜厚

塗装方法	標準膜厚		標準使用量 ^(注) g/m ² /回
	DRY (μm)	WET (μm)	
ハケ塗り	120	225	380

注) 標準使用量は、個々の条件によって異なります。

乾燥時間、塗装間隔、可使用時間

項目		5°C	10°C	20°C	30°C	40°C
		乾燥時間	指触 4時間	3時間	1.5時間	30分
	半硬化	16時間	12時間	5時間	3時間	3時間
標準塗装間隔	最短	24時間	16時間	8時間	6時間	5時間
	最長	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月	1ヶ月
可使用時間		7時間	6時間	5時間	2時間	1時間

注) 上記時間は施工管理上の参考データです。規格に規定がある場合はそれを優先してください。
実施工においては塗膜異常がないことを確認したのちに、次工程を塗装してください。

【ご使用上の注意事項】 ■ 下記の注意事項を守ってください。 ■ 詳細な内容については安全データシート(SDS)をご参照ください。

- 【予防策】 取り扱い作業中、乾燥中ともに換気の良い場所を使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、逆気マスクを着用すること。又、取り扱った作業場所には局所排気装置を設けること。皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、顔・髪・肌・目・衣類・長袖の作業着・手袋を着用すること。火気避けること。静電気放電に対する予防処置を講ずること。火災が発生しないよう工具・防塵型の電気機器・換気装置・照明機器等を使用すること。喫火又は高温の自然体に接触しないこと。本来の目的以外に使用しないこと。指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。取り扱った後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。本品の付いた布類や本品のかす等は水に溶かして処分すること。
- 【対応】 目に入った場合直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。皮膚に付着した場合直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。吸入した場合、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。飲み込んだ場合直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。漏出時や飛散した場合は、砂・布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。
- 【保管】 指定容器を使用し、完全にふたをして湿度のない場所に保管すること。直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。
- 【廃棄】 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)
- 【施工後の安全】 本品は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装後の場合は、施工者に対して安全性に十分に注意を払うように指導してください。例えば、不特定多数の方が利用される施設などの場合は、立看板などでペンキ塗り立てであることを表示し、化学物質過敏症ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにしてください。

主な適用塗料

下塗: SDジンク1000、SDジンク100、SDジンク500、SDジンク500マイルド
上塗: セラテクトマイルド中塗(E)、セラテクトUマイルド、セラテクトSマイルド2、セラテクトFマイルド、ユニテクト20セーフティ、ユニテクト30SF など

推奨塗装仕様

【標準塗装仕様】

工程	塗料名	塗装方法	塗布量	標準膜厚	塗装間隔
			g/m ² /回	μm/回	(20°C)
素地調整	3種ケレン: 動力工具・手工具を用いて発錆部はSSPC SP-3 (ISO St 3) まで除錆し、活膜部は全面表面粗しを行う。 (塩分が残存する場合は事前に水洗いを実施し、乾燥後素地調整を行ってください)				
下塗	エンジン	ハケ・ローラー	380	120	8時間以上
上塗	ユニテクト20セーフティ/ユニテクト30SF	ハケ・ローラー	190/170	60	16時間以上

【重防食素地調整仕様】 ※発錆箇所をプリストルプasterで除去し、ジンクリッチペイントで補修する

工程	塗料名	塗装方法	塗布量	標準膜厚	塗装間隔
			g/m ² /回	μm/回	(20°C)
素地調整	3種ケレン: 動力工具・手工具を用いて発錆部はSSPC SP-3 (ISO St 3) まで除錆し、活膜部は全面表面粗しを行う。 (塩分が残存する場合は事前に水洗いを実施し、乾燥後素地調整を行ってください) ★プリストルプasterを使用し、発錆箇所を入念に除去する。				
補修塗り	SDジンク500*	ハケ・ローラー	320	40	24時間以上
下塗	エンジン	ハケ・ローラー	380	120	8時間以上
上塗	ユニテクト20セーフティ/ユニテクト30SF	ハケ・ローラー	190/170	60	16時間以上

*素地が露出した部分にSDジンク500を補修塗ります。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

北海道 TEL (0133) 64-2424 FAX (0133) 64-5757
東北 TEL (022) 287-2721 FAX (022) 288-7073
北関東 TEL (028) 637-8200 FAX (028) 637-8223

東京 TEL (03) 5711-8902 FAX (03) 5711-8932
中部 TEL (052) 262-0921 FAX (052) 262-0981
大阪 TEL (06) 6203-5701 FAX (06) 6203-5603

中国 TEL (082) 262-7101 FAX (082) 264-3285
四国 TEL (0877) 24-5484 FAX (0877) 24-4950
九州 TEL (092) 411-9901 FAX (092) 441-3339

※製品改良のため仕様は予告なしに変更する場合がございますのでご了承ください。

(20年01月02日PKO) カタログNo.397